

## 小金原地区社会福祉協議会 令和6年度評議員総会開催

小金原地区社会福祉協議会の令和6年度評議員総会が5月24日に市民センター2階ホールにおいて開催されました。

議事ではまず前年度の事業報告と会計報告が承認されました。定例イベントでは「ふれあい会食会」が9回、「ちょっといっぷく」が34回、「おやこタイム」が28回でした。また、研修会と講演会が各1回、そして地域情報部会が5回でした。「2023年度ふれあい広場」は11月26日市民センターとその周辺を用いて開催されました。全体から見ればコロナ以前に近いレベルに回復したといえます。

次の議題で組織の変更のための規約改正が採択されました。行事部とボランティア支援部が廃部となり、新たに健康増進部を発足することとなりました。次いで今年度の事業計画と予算が決定されました。

役員については、廃部となった部長2名の退任と、広報部長の交代が決まりました。退任されたのは行事部長の市村廣子さん、広報部長の吉田和男さんです、ご苦労様でした。外山泰三さんはボランティア支援部長を退任し、健康増進部長に就任されました。

### 令和6年度 行事予定

5月24日	評議員総会	市民センター
11月30日	小金原ふれあい広場	市民センターとその周辺
令和7年2月5日	町会サロン情報交換会	コミュニティ会議室

### 令和6年度 各部活動予定

会食部	6～9月を除く第3水曜日会食会実施
研修講演部	講演会、研修会の企画、実施
広報部	広報誌「ふれあい」の発行、公聴活動
高齢者支援部	毎月第1、3、4火曜日「ちょっといっぷく」開催
健康増進部	健康につながるゲームやスポーツを開催
子育て支援部	毎月第1、2、3火曜日「おやこタイム」開催
情報交換部	情報交換会年5回開催



今年度の事業計画と予算が決定されました。今年度は、前年度の事業内容を継続しながら、できることから徐々に活動を広げるよう努める計画になっています。今年度の予算については、前年度の規模が維持されました。

### 令和6年度 小金原地区社協役員

会長	並木 幸雄 (留任)
副会長	山本 健治 (留任)
副会長	渋谷 寛之 (留任)
副会長	井黒 正人 (留任)
副会長	所 正明 (留任)
事務局長	高谷 正一 (留任)
書記	細谷 暢子 (留任)
会計	服部 幸子 (留任)
会計	今井 紀子 (留任)
監事	新井 洋司 (留任)
監事	加藤 和紘 (留任)
顧問	齊藤 静志 (留任)
会食部長	細谷 暢子 (留任)
研修講演部長	関口 等 (留任)
広報部長	井黒 正人 (新任)
高齢者支援部長	服部 幸子 (留任)
健康増進部長	外山 泰三 (新任)
子育て支援部長	今井 紀子 (留任)
情報交換部長	柴田 光幸 (留任)

7、8、9月の定例行事予定

小金原談話室10時～13時

## ちよつといっぷく

7月1日(七夕祭り)、22日、29日 8月5日、19日(音楽療法)、  
26日 9月2日(お月見)、30日

会場：小金原老人福祉センター内 ※小金原地域の65歳以上の方  
お茶代100円、スリッパ持参

小金原体育館

1Fプレイルーム9:30～10:50

## おやこタイム

7月2日(七夕祭り)、9日、  
16日(保健師の方が来場)  
9月3日、10日、17日

※8月はお休みです。

生後0才～就園前のお子さんが対象です。

無料

小金原市民センター

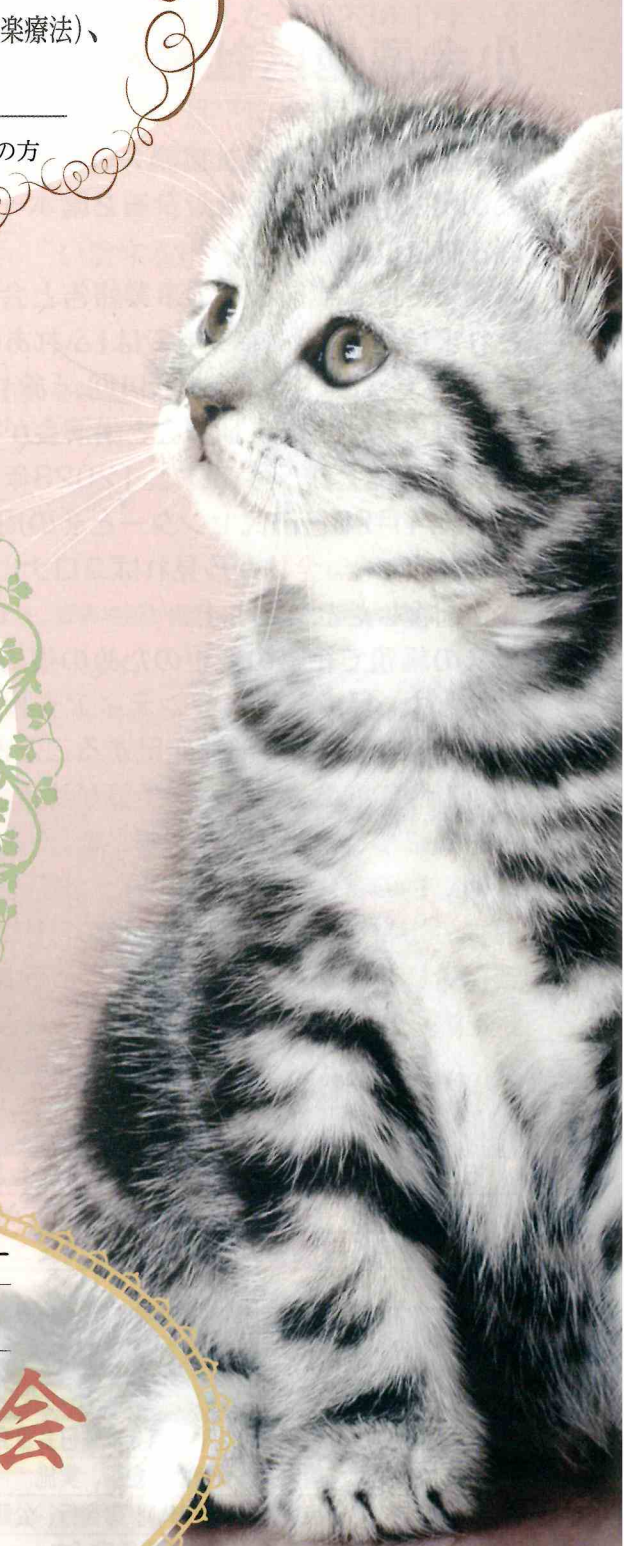
2Fホール 11:30～13:00

## ふれあい会食会

※7、8、9月はお休みです。

72歳以上のひとり暮らしの方で、民生委員に  
登録されている方が対象です。

参加費300円



# 身近に感じて下さい！ 民生委員のこと

5月29日(水)中央商店街、及び市民センター周辺で、民生委員みんなで作ったチラシと手渡しグッズを配りました。250個ほど用意したグッズが1時間ほどでなくなりました。

5月29日、小金原中央商店街広場で民生委員の方々が啓発活動を行いました。小金原地区には28人の民生委員(正式には「民生委員・児童委員」といいます。)がいます。

民生委員は任命者は厚生労働大臣です。民生委員が関わる施策の領域は広く、障害者支援や生活保護などの援護施策、子育て支援や不登校などの児童施策、独居高齢者や要支援家族への高齢者施策など多岐にわたっています。

民生委員は市社協や地区社協の事業と密接に繋がりながら活動しています。そして、多くの民生委員は地区社協のスタッフとしてその活動に参加しており、社協活動の大事な担い手となっています。啓発活動の日に先立って民生委員の方々は民生委員のチラシにおみやげ品を同封した手渡しグッズを皆で作りました。250個ほど作ったグッズは当日の1時間あまりで、集まった人々にすべて手渡されました。

## 子ども食堂は気持ちのいい居場所



多くのボランティアの方々が手伝いされていて、子どもたちと大人の交流の場にもなっていました。

「こがねはら子ども食堂」は小金原8丁目の桜通りのお店で毎週土曜日に開かれています。当誌は6月8日に食堂を訪問して取材しました。午前中からスタッフの方々が集まって食事の支度をしていました。昼頃になると子どもたちが大勢集まってきて、スタッフの人たちと声をかけ合い、食事を受け取っていました。子どもたちは思い思いにグループになって食事をしていました。この日やって来た子どもたちは15人ほどでした。

「こがねはら子ども食堂」は、お店のオーナーや常連客が中心になって立ち上げ、今も地域のボランティアによって運営されています。代表の高橋亮さんによると、この活動を始めたのは2016年で、その後「こがねはら子ども食堂」はボランティアのスタッフ、寄付金と補助金、フードバンクの食材支援などに支えられて、これまでの8年間活動を続けてきているとのことでした。この間、子ども食堂の活動は多くの場所で始められ、今では松戸市だけで42か所になったとのことでした。

「こがねはら子ども食堂」は子どもにとって居心地のいい場所であることを大事にしており、また来たい子どもは誰でもどうぞと言っています。また、そのことで自由で楽しい雰囲気が作りだされ、子どもたちだけでなく、スタッフの方々にとってもいい場所となっているようです。

小金原地区社協は、昨年度から「こがねはら子ども食堂」に年5万円の助成を行っています。



■グリーンズローモビリティ■

# 祝 5000人 突破

24年6月26日



6月26日「祝5,000人突破」の記念式典が  
開催されました。5,000人めの石井孚子さ  
んには花束と記念品が贈呈されました。

小金原地区の無料電気自動車「グリーンズローモビリティ(通称;グリスロ)」の利用者が6月26日になんと5,000人を突破しました。2023年1月から正式運行を開始して18ヵ月、月平均約278人という高利用率で、松戸市のグリスロ運行地域の中で、最も高い数字を出しています。

## 8月1日からルートの一部変更のご案内

火曜日(根木内コース)

久保下の交差点を過ぎてから、信号で右折して「湯原産婦人科」「すすめ公園」を通過してテラスモールへと向かう形に少し変更になります。

水曜日(おやこde広場コース)

13:30(右回り)便が1便追加になります。(第3水曜日を除く、但し7~9月は運行)時間の変更も予定しています。詳しくは地区会広報誌で案内します。

木曜日(栗ヶ沢・9丁目コース)

おっかさん駐車場横で停車した後、オーケストア裏を通るようになります。乗降場所が常盤平駅により近くなります。

※グリスロは松戸市が管理し、小金原地区会が運営、小金原地区社協が協力しています。

詳細は  
地区会広報誌で  
案内します

小金原地区居場所づくり実行委員会からのお知らせ

## つながるステーション開催

乳幼児から高齢者まで  
だれでも集まれて  
好きなようにすごせる  
そんな場所が  
小金原にあります



7月27日(土)

8月24(土)

9月28日(土)

10:00~16:00

ペンギンハウス724 ※駐車場はありません。  
(ペンギン公園内小金原7丁目西町会会館)



お茶、お菓子、ポップコーン、乳幼児スペース、ボードゲーム、風船など

※小金原地区居場所づくり実行委員会・松戸市地域共生課が主催しています。

## 編集後記

これからやってくる猛暑日をどう乗り切るか、これこそが7、8、9月の最大のテーマだな~、と思いつつ汗を拭きながら「ふれあいKoganehara7月号」を初めて編集しました。とは言っても取材は広報部の皆さんが動いてくれました。私はレイアウトをやっただけです。吉田さん、山本さん、ありがとうございました。これからも多くの皆さんに様々な情報が伝わる紙面づくりに励んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。  
(広報部長 井黒正人)